

## 道徳教育の評価の在り方

道徳教育における評価は、教師が子どもの人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づけるはたらきをもっている。従って、教師と子どもの温かな人間的触れ合いやカウンセリング・マインドに基づいて共感的に理解することが大切である。

共感的な子ども理解を深めるために  
子どもにかかわりながら観察することを心がける  
子どもの心の成長の経緯を大切にする  
教師の共感性を高める

### 1 評価の進め方

子どもの道徳性を捉えようとするときには、評価の観点や子どもを見取る視点を明確にすることが重要となる。子どもの道徳性は本来、全人格にかかわるものであり、子どもを全体像としてとらえ、そのよさや気になる兆候などをエピソードとして積み上げることが大切である。

#### < 評価観点例 >

##### 【観点1 道徳性の諸様相をもとに】

道徳的心情 望ましい考え方やよりよい生き方にどのような感情をもっているか。  
道徳的判断力 善悪の判断を下す場面で、どのように思考し判断するか。  
道徳的実践意欲と態度 よりよく生きようとする意志や構えがどれだけ育っているか。  
道徳的習慣 基本的な生活習慣などをどの程度身に付けているか。

##### 【観点2 道徳の内容項目をもとに】

各学年ごとの内容項目を評価の窓口とする。  
学校での重点内容項目を窓口とする。

##### 【観点3 指導要録の「行動の記録」をもとに】

「基本的な生活習慣」「自主・自律」などの10項目を評価の窓口とする。

#### < 評価方法例 >

ノートやファイル 保護者や周囲の人の評価 自己評価・相互評価  
子どものサイン（言動、交友関係、作文、日記、ワークシートなど）

## 2 「道徳の時間」における評価

道徳の授業を通して、子どもの成長を支える評価を行うためには、子どもの興味・関心を高める授業の構想（事前の段階）、授業場面における子どもの活動への対応（授業時）、指導課題の設定とその後の見守り方（事後の段階）のそれぞれの段階についての評価を工夫していく必要がある。

### < 事前に子どもの実態をとらえる観点例 >

授業でねらいとする内容項目について、それまでの評価はどうであったか。  
主題にかかわって、どのような体験があるか。（各教科等・学校生活・家庭・地域の中で）  
子ども自身が主題にかかわっての自分の感じ方、行為の現状をどう見ているか。  
ねらいにかかわる内容項目について、子ども相互間ではどのように見られるか。

### < 授業時に学習をとらえる観点例 >

学習に子どもたちが主体的に取り組んでいるか。  
特定の子どもの発言に偏っていないか。  
子どもの考えの真意がくみ取れているか。  
話し合いがねらいに向かって深まっているか。  
子どもの気付きや成長を見逃していないか。

### < 授業後に行う評価の工夫例 >

授業後に教師による授業評価を工夫しているか。  
授業後の子どもの姿を見届けているか。  
他の教育活動へと子どもの意識をつないでいるか。

## 3 指導計画の評価

子どもたちの豊かな成長を支援していくためには、常に指導の拠り所となる全体計画・年間指導計画、学級における指導計画などが、子どもの心の成長に役立つものであるかなど、子どもの立場に立って、評価の工夫、改善を図ることが大切である。

### < 重点的に扱う内容項目の見直しの観点（例） > < 道徳資料についてのアンケート用紙（例） >

同じ内容項目の学習で、発展や広がりが見られるか。  
ねらいとする道徳性の様相に変化が見られるか。  
他の道徳的価値の内容と関連、複合させ、より広がりのあるものになっているか。  
ねらいとする道徳的価値の内容の構成要素を分析して具体的なものになっているか。  
複数の内容項目を有機的に関連させているか。

あなたが道徳の授業で、  
強く心に残っているととても役に立つという資料に をつけてください。  
心に残っている、役に立ったという資料に

資料の名前	印
郷土を守る	

## 授業時に学習をとらえる観点（例）

学習に子どもたちが主体的に取り組んでいるか。  
 特定の子どもの発言に偏っていないか。  
 子どものかの考の真意がくみ取れているか。  
 話し合いがねらいに向かつて深まっているか。  
 子どもの気づきや成長を見逃していないか。

【指導と評価の一体化】  
 子どもの変化や成長したことなどを伝え、子どもの発言に温かい言葉をかけていくよう心がける。

## 子どもの自己評価欄を設け、評価を行った例（第4学年）

子どもが自分の学びを振り返る

教師は授業評価や授業改善に生かす

今日の道徳の時間は、・・・

集中して学習に取り組めましたか。	
資料に出てくる人の立場に立って考えられましたか。	
感じたことや考えたことをすすんで伝えたいと思いましたか。	
友だちの考えが自分の考えをふくらませるために参考になりましたか。	
今日の学習について 感じたこと	町会長さんのお話を聞いて、みんなのためにがんばっていてえらいなあと思いました。ぼくも、自分にできることで役に立ちたいと思いました。

子どもの疑問などを学習に位置付ける。  
 抽象的な発問は具体化し、子どもの言葉で問いかける。  
 すぐに発言を求めずに、考える時間、書く時間を確保し、小グループによる話し合いなどを取り入れる。  
 共感的に耳を傾け、子どもが語りやすくする。  
 ねらいにかかわって子ども相互の発言をつなげ、自力解決に向かうような話し合いを組み立てる。

ゲストティーチャーの話を設定し、意欲の喚起を促す。

わたしは、みなさん方、子どもや地域の人たちのためにと、ごみの収集日には、出されたごみの点検や始末をしたり、冬には通学路の雪かきをしたりしています。また、みなさん方が安全に登下校できるよう、交代で通学路を見守ったり、車に安全をよびかけるステッカーを貼って運転したりしています。自分たちでできることは、少しでもお役に立ちたいと思っています。

<町会長さんのお話>

## 事後の評価を指導に生かした例（30ページ参照）

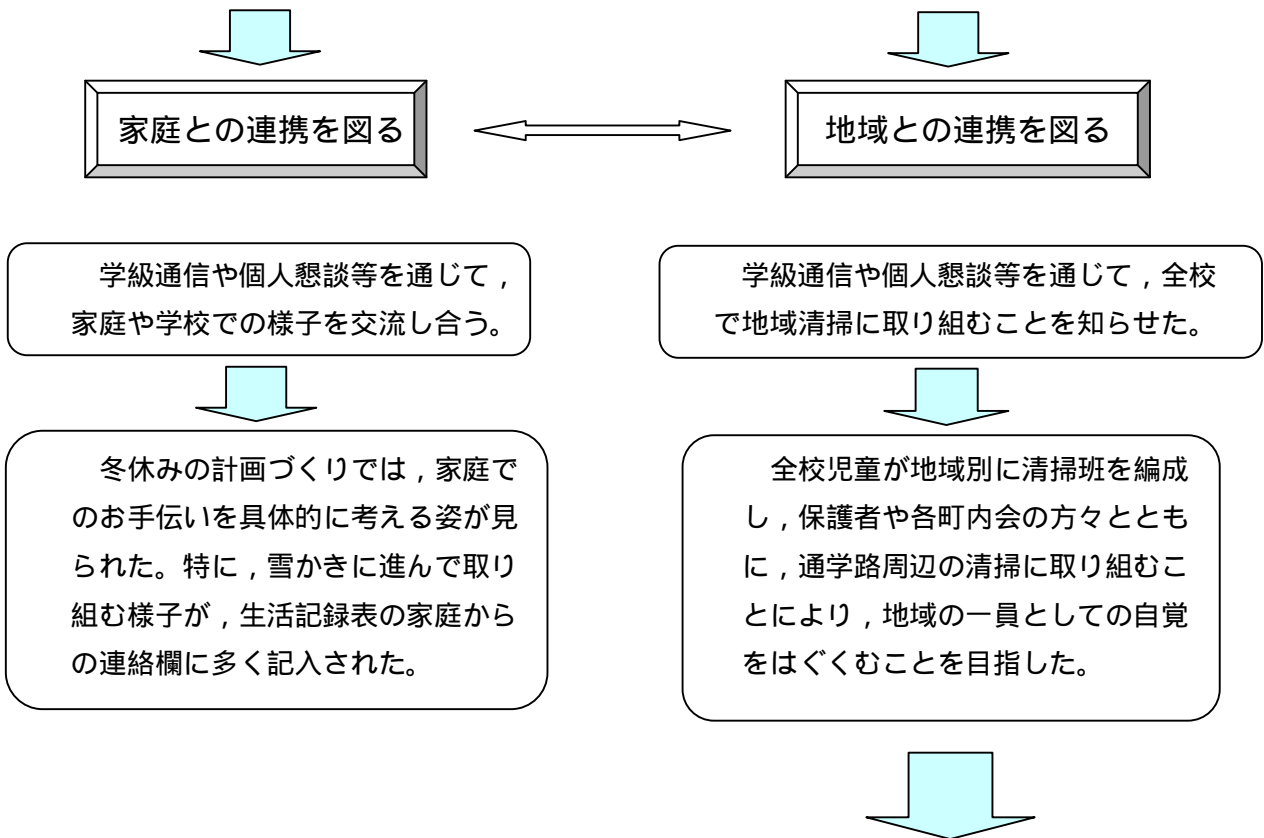
事後の評価は，教師自身による実践そのものの評価，授業後の子どもの姿の見取り，子どもの課題意識や実践意欲の広がりなどを見取りからなる。

授業後の教師による授業評価を工夫する。

- ・ 例えば，年間指導計画（展開の概要）に授業評価欄を設け，そこに書き込むことを通して，授業改善に生かす。

授業後の子どもの姿を評価する。

- ・ 授業後，主題にかかわる子どもの実態を注視しながら，一人一人に応じた事後の指導も考える。他の教育活動への意欲を高める。
- ・ 道徳の時間で培われた課題意識や実践意欲を広げ，他の活動との関連を図るために，子どもが挑戦していく機会や活躍の機会を設定するなど，意図的に出番を設けるような工夫をする。



### 【全校地域清掃に参加した子どもたちの作文より】

今回，わたしは，町会の人たちといっしょに通学路や公園の清そうをしました。ごみをどんどんひろっていくうちに，わたしの心もピカピカになっていく感じになりました。明日から，しばらくここを通る人がいい気持ちでいられると思うと，なんだかうれしくなります。